

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ウィルケアみよし		公表日		令和 8 年 3 月 30 日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	送迎等工夫している。 配置は出来ているが、職員が増えた方が効率が良く安全が確保出来る。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	学習スペースと遊びスペースに分かれている。	賃貸である事や建物の構造上、バリアフリー化は難しい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	机とマットスペースに分かれている。空気清浄機や換気扇があった方がいいと思う。	今後も児童が快適に過ごせる様にその都度、問題点の改善や修繕を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	カームダウンスペースがない。 事務室を使うことがある。	今の環境で児童がクールダウンできる場所の工夫を行っていきたくと思います。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	昼礼が出来ない事がある。 共有ノートが活用できていない。	全職員が参画できる様に改善していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	出来ている。 毎年、自己評価を行い職員で結果に対しての会議を行い出来る事から改善に繋げている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	昼礼で発言出来ている。 職員会議を行っているが、午後勤務の非常勤職員は参加出来ない。	管理者等による職員の個別面談を実施し、その意見を聞き業務改善を行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	不明 第三者評価は行っていない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	動画研修を行っている。 感染症や虐待防止等の研修を行ったり、強度行動障害研修を法人で受講している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	行っている。内容に心配があったり、もう少し説明があっても良いのではと思う。HPIにて支援プログラムを公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	定期的なモニタリング、会議を行い支援計画の見直しを行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	職員会議を行い職員の意見を聞き入れ計画に反映させている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	モニタリング時に共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	出来る様になった事など、職員間で話したり、保護者に連絡帳で共有している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	あまり積極的に共有されていないが、担当者が立てている。必要な五領域を取り入れながら保護者と面談し支援内容を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	個人が多い。 イベントや1日の過ごし方を会議や話しプログラムを決めている。	活動プログラムについて職員全員の意見を聞きながら行っていきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	ルーティンになるまでは固定。職員がそれぞれ担当を持ち回り、工夫して楽しいイベントがされている。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	状況はよく話している。 個別療育の時間と集団療育の時間を分けて計画し支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	送迎時の兼ね合いで出来ない事もある。	基本は昼礼時に行っているが、送迎の関係で参加できない職員については個別にその日のリーダーが伝えていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	終了後は出来ていない。送迎や勤務時間の関係で当日中に出来ない事がある。	支援終了後に打合せが出来ていない場合には次の日の支援開始前に前日の内容を共有をはかっていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	サービス提供記録や個人ファイルに記録し、今後の支援内容や改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	担当者が行っている。 期間内にモニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	担当者が行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	言葉が難しくてもカード等で決定してもらう。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	担当者が行っている。 自発管や担当職員が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	電話等を活用し行っている。 相談支援専門員と連携出来ているがその他とはあまり出来ていない。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	学校との情報共有はあまり出来ていないと思う。行事予定やお知らせのお便りをもらい連絡調整を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	あまり出来ていない。必要に応じて担当者が行っている。関係機関から連絡があれば出来ているが、個人の問い合わせではあまり出来ていない	就学前に利用していた保育園等との情報の共有は今後は行っていく必要を感じている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	必要に応じて担当者が行っている。就労支援や生活介護の担当者や相談員に必要な情報は提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	機会がなく出来ていない。	外部研修等には今後は積極的に参加していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	ない。 公民館等の利用はあるが、他の子どもと交流する機会はなかった。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	時間がない。 なかなか出来ていない。	こども部会への参加は管理者や自発管だけではなく指導員も参加しているので、今後も参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	よく話している。 オフィシャルでない時が多い。 送迎時に口頭で話をしたり、LINEや連絡帳で状況を伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	提供しているのを見たことがない。 家族に対しての研修等は行っていない。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	担当者が行っている。 契約時に説明し、書面にて同意を貰っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	保護者面談は定期的に行っている。 契約時やモニタリング時に機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	担当者が行っている。 支援計画書にて説明を行い、同意を貰っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	担当者が行っている。 悩みや相談があった時は対応している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	6	出来ていない。 コロナ前は出来ていたが、最近は出来ていない。 コロナを理由に出来ていなかった。	来年度は保護者会や保護者同士が交流できる機会を設ける計画をしている。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	何かあれば管理者に連絡している。 苦情があった場合は適時対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1	担当者が行っている。 HPやタイムラインを活用しているが、なかなか更新できていない。	来年度は広報委員会を設置し、積極的にHP等で活動内容を発信していきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	シユレッターを使って破棄している。 個人ファイル等は鍵付き棚に保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	カードや指差し、同じ表現を使うなどしている。 保護者様とは日々の体調など連絡帳や送迎時に話を聞いている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	出来ていない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	行っている。マニュアルを策定しそれぞれの研修や訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	行っている。 BCPを策定し、定期的な訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	行っている。 フェイスシートにて服薬内容や病気について確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	医師ではなく保護者に確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	担当者が行っている。 家族への周知は出来ていない。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	事案があった際は必ず書面に残し共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	研修会は共有している。 虐待防止委員会を開催し、研修内容の報告を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	同意書をもらっている。 契約時にどのような行為が身体拘束になるのか、拘束があった場合の対応内容を説明し承諾を得ている。		